

# 全国協議会 ニュース

2021年6月1日発行 第346号

発行所：特定非営利活動法人  
**全国骨髓バンク推進連絡協議会**  
 〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-3-4KT ビル 3階  
 TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365  
 発行責任者：田中重勝 題字：仲田順和（会長）  
<https://www.marrow.or.jp> E-Mail:office@marrow.or.jp

## 白血病フリーダイヤル 開設から 25年 ～患者さん・患者家族の不安に寄り添って～

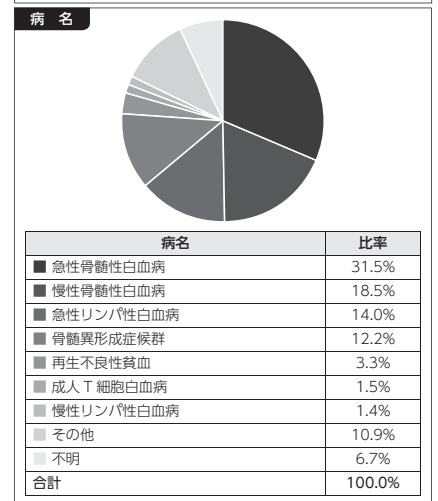
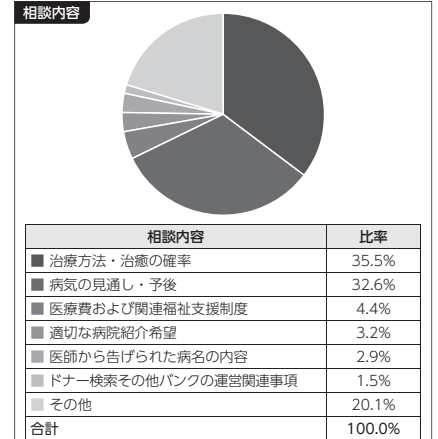
「白血病フリーダイヤル」を、全国協議会が初めて実施したのは1996年7月でした。今年で開設25年となります。「白血病フリーダイヤル」は、ボランティアの相談員・専門医の献身的なご協力なくして実施できません。25年間にわたり真摯に相談業務に携わっていただいた、相談員・専門医の皆さんに、全国協議会設立30周年の節目に、敬意と感謝を表します。

1996年当時は、病気や治療に関する医療情報が少ないために、告知を受けた患者さんは不安の中、主治医から言われたままの治療をせざるを得ませんでした。そこで全国協議会では、血液疾患の患者さんからの医療相談に答える窓口として「白血病フリーダイヤル」を設置しました。毎週土曜日、ボランティアの相談員が事務所に待機し、第2・4土曜日は第一線で活躍している血液内科専門医にもボランティアで参加いただき、患者さんからの相談に丁寧に対応しています。フリーダイヤルなので患者さんは電話料金を気にする必要はありません。患者家族からの相談も受け付けます。移植を勧められたが決断できない、今の治療で良いの

か、セカンドオピニオンについて知りたい、家族との関係や再発の不安、主治医への不満など、相談員は傾聴の姿勢で相談に乗り、また専門医の先生方は、豊富な臨床の経験からの確に相談者へアドバイスをして納得するまで説明しています。2021年3月末で、延べ1,239回、8,812件の相談を受け付け、多くの感謝の声をいただいています。

そんな白血病フリーダイヤルもコロナ禍の影響で、今年の4月から3度目の活動休止に追い込まれてしまいました。全国協議会には活動の再開に関する問い合わせの電話が数多く寄せられています。新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分に気をつけていただきながら、緊急事態宣言が解除され、コロナ禍の

収束が見込まれるようになったら、また、活動を再開いただくことになると思います。支援を待つ患者さんのため今後ともご協力をお願いいたします！



### 東京マラソン 2022 チャリティ事業の寄付先団体に内定！

全国協議会は2022年3月6日（日）に開催予定の東京マラソン2022のチャリティ寄付先団体に内定しました！

3度目の挑戦となります。このチャリティ活動によって、「骨髓バンク」を多くの方に知っていただき、また、白血病をはじめとする難治性血液疾患の患者さんに沢山の支援が出来るよう頑張ります！

チャリティランナーの募集要項については全国協議会のホームページで順次ご案内いたします。詳しくは「東京マラソン2022チャリティ公式ウェブサイト」をご覧ください。

参考：東京マラソン2021チャリティ公式ウェブサイト ▶▶▶ <https://www.marathon.tokyo/charity/>

東京マラソン2021チャリティへのご支援ありがとうございました

2020年7月3日から2021年3月31日まで受付をしていた東京マラソン2021チャリティへのご寄付は13名の方にご支援いただき総額141,000円を頂戴いたしました。また、ご支援いただいた方で、チャリティプログラムの一環として開催された「Run with Heart 3.9km バーチャルラン」に参加された方の中から1名に東京マラソン2022の出走権が、3名の方にオリジナルクリアファイルが贈られました。おめでとうございます！

### 骨髓バンクの最新情報をお知らせする

## 骨髓バンク NOW

〈MONTHLY JMJP(5月14日発行)より抜粋〉

### ■日本骨髓バンクの現状(2021年4月末現在)

	3月	4月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,557	2,892	532,030	857,967
患者登録者数	241	227	1,749	61,665
移植例数	113 (34)	104 (30)	—	25,434 (1,252)

※( )内は末梢血幹細胞移植の実施数(国際間含む)

### ■4月の区別別ドナー登録者数

献血ルーム/756人、献血併行型集団登録会/2,063人、集団登録会/1人、その他/72人

### ■4月の年齢別ドナー登録者数(現在数)

10代 2,919人/20代 83,779人/30代 137,038人  
40代 222,651人/50代 85,643人

### ■4月の20歳未満の登録者452人

### ■4月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：1,206件(国内ドナー→国内患者)

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

## アパレル業界をもつなぐ 支援の輪



**和久津 晶**  
(わくつ あきら)  
日本プロ麻雀連盟の23期生として2007年にプロ入り。A2リーグ所属。プロクイーン(2011年、2014年)、女流MONDO杯(2019年)などのタイトルを獲得。現在、プロ麻雀リーグの最高峰Mリーグに参戦中。着用したTシャツは今回企画されたTシャツです。

トップクラスの女流プロ麻雀士として活躍されている和久津晶プロが「血液難病の患者さんの支援に役立てて下さい」と全国協議会に寄付をして下さいました。和久津プロと一緒にTシャ

ツを製作したコーラルクルーザー様からの報告です。

### 寄付のご報告

プロ雀士として多方面で活躍されている和久津プロと、アパレルのオンラインショップを運営するコーラルクルーザーが合同でTシャツを企画・販売し、収益の一部を全国骨髄バンク推進連絡協議会様と日本財団様へ寄付させていただきました。

和久津プロは以前から血液難病の患者さんの支援に深い関心を持っており、全国協議会理事のルーラー山口(山口明大)様と共に熱心に支援活動に取り組んでいらっしゃいます。

麻雀界のファッションист (ファッ

※ 日本財団様への寄付は新型コロナウイルス感染症拡大防止に尽力する医療従事者への支援に使われます。

ションリーダー)として知られる和久津プロがデザインしたTシャツは大きな反響を呼び、沢山の方々にご購入いただくと同時にチャリティーにも多くのご賛同をいただきました。また、長引くコロナ禍で不況にあえぐアパレル業界の活性化にも繋がる、まさに三方良しの企画となりました。

『一過性で終わらず継続的な支援が重要』との和久津プロの考えから、次回以降販売する新作アイテムにつきましても、収益の一部を寄付させていただくこととなりました。今後も洋服を通して沢山の笑顔を生み出せるよう邁進して参ります。第二弾アイテムの情報も和久津プロのSNSにて発信中です。

(コーラルクルーザー スタッフ)

## 若年ドナーリクルート動画 61万回超再生



日本骨髄バンクは、厚生労働科学研究事業・福田班(代表:福田隆浩国立がん研究センター中央病院造血幹細胞移植科長)の、コーディネーターが進みやすいドナーの特徴を調べる研究「骨髄バンク登録者・幹細胞提供者の行動経済学的特性/大竹文雄大阪大学特任教授ほか」を基にして、提供に至る可能性の高い人の特徴をとらえた若者向けのリクルート動画「あなたは

100人に1人!」を作成しました。

動画では「降水確率50%でも傘は持っていない」「人と同じことをしなくても平気」など6個の質問が投げかけられます。また、登録後すぐにドナーに選ばれることもあると伝え、それでも登録する!という若いドナー登録者が増えるよう呼びかけています。

動画は日本骨髄バンク YouTube 公式チャンネルでご覧ください。

## 基金給付を受けた方からの メッセージ

### 志村大輔基金 (分子標的薬支援)

多発性骨髄腫の診断を受けて、現在は28日に1回大学病院に通院し、治療を続けています。

治療を続けていくには、毎回の治療費に加えて毎日の薬代もあり、経済的に大変厳しいものがあります。通院治療だけでなく、繰り返し入院しての治療もしました。家族には私自身の体調の心配ですが、私は今まで働いていた仕事も続けることが難しくなり退職せざるを得ない状況になりましたので健康も家計も見通しが暗くなる一方で、そんな時に志村大輔基金の存在を知り、申請させていただきました。おかげさまで給付決定となり、1回目、2回目と助成を受けております。大変

苦しい家計の状況がありましたので妻の喜ぶ姿が私にはとても嬉しいのです。感謝いたします。お礼申し上げます。

今後への希望は、現在の化学療法での治療を続けていき、体調維持に心がけ、人生を前向きに生きて行こうという事です。今は妻や子供たちの励ましを受けて漢字検定試験に挑戦中です。抗がん剤治療の副作用で免疫力がほほほないので、受験会場に漢字検定試験で集まる皆さんと同じ空間で受験するには感染のリスクが極めて高くなる旨を事前に伝えると個別対応で個室を提供していただきました。おかげで安心して試験を受ける事が出来ました。幸い、合格出来ましたので次の級に向けて次回検定の申し込みをしたところです。また、新型コロナウイルスの終息が見えてくれば、ハローワークを通して半日程度でも就労できないか、相談しに行きたいと思っています。

私には4人の孫がいます。普段は笑う事も少なくなってきたのですが、孫と過ごす時は、ついつい笑顔になり、表情が豊かになっている自分があります。まだまだ、孫が小さいので1年でも長く生きて孫の成長を妻と一緒に喜び、ランドセルもプレゼントしたいと思っています。人が集まる所は避けるようドクターの指導がありますのでこども園の発表会や運動会といった孫の行事への参加は出来ませんし、孫のお迎えで園内に入ることも出来ません。しかし、感染予防に十分配慮して体調維持していく事が一番良いと思うように気持ちを切り替えています。まだまだ、前向きに生きて行こうと思っています。同じ病気の所見がある皆さん、いろいろな事がありますがお互いに前向きに頑張って乗り切って生きて行きたいですね。

(東北地方在住 患者さん)



## 聖火ランナー「みんな繋がっているんだ！」②

4月18日(日) 香川県東かがわ市



私は命のリレーを受けて生きています。血液内科医として働く私が急性骨髄性白血病と診断されたのは2016年秋。どうして自分になったのか当初思い悩みましたが、家族・友人の励ましもあって、人間万事塞翁が馬、この経験を将

来に生かそうと前向きに考えるようになりました。バンクドナーさんから骨髄移植を受け、退院に向けてリハビリをしていると、5年前にマラソンの大会でばったり出会った移植を受けた患者さんのことを思い出しました。これだ！自分も元気になったらまたフルマラソンに出よう。

そうは言っても退院直後は、しんどくて散歩もままならなかったのですが、徐々に体調が戻り、走れる距離を少しずつ伸ばしていき、そして移植後1年5ヶ月後にフルマラソンに出場することができました。

ここまで元気になれたことに、感謝の

気持ちを伝えたい。そしてこれから移植を受ける患者さんにやりたいことを諦めずに勇気と希望を持ってもらいたい。その想いを伝えたくて、聖火ランナーに応募しました。

COVID-19が収束していない状況で、医療従事者の私が本当に走って良いものか悩みましたが、家族、知人にはWebで応援して下さいとお願いして、本番を迎えました。生きている喜びを噛み締めながら、ドナーさんはじめお世話になった皆様への感謝の気持ちを胸に走りました。これからも一人でも多くの患者さんに元気になってもらうために、これからも自らが希望の架け橋となるべく努めてまいります。

(香川大学医学部附属病院 血液内科 藤田晴之)

4月25日(日) 宮崎県日向市



4月25日(日)に宮崎県で開催された聖火リレーに参加しました。コロナ禍がまだ落ち着かなく世間ではいろいろ言われている中でしたが、一生に一度の経験なので、純粋に楽しみたいという気持ちで走らせていただきました。

今まで出会ったすべての人に感謝の気持ちを表したいということで応募しましたが、私が走ったところはちょうど切

通しのところで、観客はまばらながらも、沿道から見ず知らずの私に向けて手を振っていただいたり、カメラを向けていただいているのを見て、私の役目はただ単に聖火を繋げるだけではなく、この人たちの想いも繋いでいるのだとの気持ちになり、また新たな感動を覚えました。もちろん、聖火を繋げるだけでも大役なのに、今日本で、いや世界中で聖火を持って走っているのは私だけなんだと思うと、さらに緊張してきて喉がカラカラになりました。

走り終わったあとに、「見てたよ」「感動した」「涙が出てきた」と様々な人から連絡をいただいたことで、聖火リレーに関われたことの意義を改めて感じると

ともに、オリンピックの精神や、復興五輪の想い、オリンピックに賛成の方、反対の方、聖火ランナーに選ばれながら諸事情で走ることが叶わなかった方、延期になった間にコロナでお亡くなりになった方、私まで聖火を繋いでいただいた方、これから聖火を繋いでいく方々の想いなど、走っている時よりも、走り終わった後の方がいろいろな想いが湧き出てきて、逆に身が引き締まる想いです。

これを機会に、今一度、自分が生まれてきた意味、自分に与えられた使命をもう一度見つめ直し、これから世の中にどのような貢献が出来るのかを考えていきたいと思います。

(あいち骨髄バンクを支援する会 北折健次郎)

4月27日(火) 鹿児島県奄美市



4月27日(火)、奄美大島の地を聖火ランナーとして走らせていただきました。

今から19年前、高校三年生だった私は白血病(急性骨髄性白血病)に倒れました。すぐそこに死を感じることもあったし、自ら死にたいと思うこともあ

りました。しかし、家族や友人、戦友たちに支えられ、そして、骨髄バンクを介したドナーさんのおかげで生き残ることができました。元気になった私は、生きていることの素晴らしさを多くの人に伝えなければと思い、小学校の先生になりました。毎年、自分の闘病体験をもとにした命の授業をしています。また、無くした体力を取り戻すべくマラソンを始めました。練習を積んでいくと、みんなに繋ぎ止めてもらった命でこれだけできるぞという“証明したい気持ち”が芽生えてきました。フルマラソンを完走し、数年後にタイムは4時間を切り、そして、今はトライアスロンをしています。

聖火リレーは家族への感謝と骨髄バ

ンクの登録者増を胸に走らせてもらいました。沿道に目をやると、両親と妻と共に「おとうさん がんばって」のプラカードを上げて応援する長男の姿がありました。「不妊になる可能性はあるけど、命には変えられないだろ」。ふと、骨髄移植を勧める父の言葉が蘇りました。私は未来の我が子が夢見て精子保存手術をして備え、2人の子宝に恵まれました。妻の深い理解と覚悟には感謝してもきれません。これ以上何をと言われそうですが、私は、父として、夫として、教師として、アスリートとしてこれからも“証明したい気持ち”に正直に生きていきます。

(かごしま骨髄バンク推進連絡会 深美陽市)

# コロナ禍での献血併行型ドナー登録会への対応

新型コロナウイルス感染症の拡大がなかなか収束を見せない中、移植を待つ患者さんのため、全国各地でボランティアがドナー登録推進のために奔走しています。そこでの対応やご苦労などお寄せいただきました。まずは関東近県での模様を紹介いたします。

東京

## できる気遣いを総動員

昨年1回目の緊急事態宣言が明けて7月から献血ルームで登録会を再開した際には、コロナの感染が怖いから説明を聞きたくないと言われるのではと心配しましたが、そのようなことはな

く、登録会を続けられていることは大変ありがたく、献血来場者の意識の高さを感じています。

コロナの感染が全く収まっていない中で説明員として登録会に出るためには、私自身が献血会場に感染を持ち込むことがないように、普段から不要な外出はせず、外食もせず、毎朝検温

して健康管理に努めています。

登録会ではマスク着用、手指の消毒はもちろんのこと、話を聞いてくださる方に不安を感じさせないよう、あまり近付き過ぎないでまず声をかける、説明のテーブルでは正面には座らず距離を保つ、その距離でもマスク越しでも話が聞き取れるようにはっきりと滑舌よく話す、登録用紙記入の時には目の前でボールペンを除菌ウエットティッシュで拭いてから渡すなど、できる気遣いを総動員させて臨んでいます。

(骨髄バンクを支援する東京の会 松下倫子)

新潟

## 採血後の休憩時に説明



昨年新型コロナウイルスが発覚した際、献血ルーム千秋に従事する予定者から連絡があり、どのように対応をす

ればよいのか判断を求められ、日本骨髄バンクや当該献血ルームに問い合わせた結果、従事しないことになりました。登録(説明)会再開は7月からになり、一般的対応になりますが、当会では従事者のマスク着用、手指消毒用アルコールの購入・管理です。

従事にあたり、新潟県赤十字血液センター担当者の指示に従い活動させていただくのは、従来と変わりません。血液センターはコロナ対策として「3密」を避けるため、「予約献血」を推奨し予約献血の時間を管理し人数調整

を行っています。そのため、採血前に骨髄バンクの説明や登録を行うと時間がズレ込み後続の予約献血者の時間の遅れが発生してしまいます。

そこで…①骨髄バンクの勧誘・登録は採血後の休憩をされている方に絞って行う。②採血後に行うため、当日の採血は不可になるので次回の来所時、または保健所にて登録申込書を持参していただき登録・採血をするように依頼する、といった対策を行っています。

(骨髄バンク命のアサガオにいがた 丹後まみこ)

埼玉

## 献血ルームの協力が絶大

埼玉連絡会の2020年度のドナー登録活動は、献血バスでは前年度の150回666人から64回230人の登録へ大幅に減少しましたが、献血ルームでは前年度の204回551人から203回465人の登録で、ほぼ現状維持の結果でした。大宮ルームでは、テーブル席に仕切りのアクリル板を設置した説明コーナーや登録を呼びかける手作りポスターを用意してくれています(写真)。



説明員は、基礎疾患のある方は自粛していただいています。昨年度の養成講

座受講生の中から、この間4名の方がデビューして活躍してくれています。

また、3月に開いた「骨髄バンクドナー登録に係る調整会議」(4者協議会：埼玉連絡会・日本骨髄バンク・埼玉日赤・埼玉県)では、登録会未実施

の市町村への働きかけを強めることが確認され、具体化が進んでいます。民間の企業・団体、大学等への働きかけが、引き続き重要な課題です。

(埼玉骨髄バンク推進連絡会 笠原慶一)

## 心からのご寄付に感謝申し上げます ●4月21日～5月20日(敬称略)

●一般	匿名 現金 3,000,000円	足立眼科医院 現金 7,795円
株式会社エアプランツ	匿名 現金 3,000円	ケンコウ調剤薬局 現金 100,000円
現金 100,000円	匿名 現金 3,000円	イオン九州株式会社 イオン都城店 現金 8,554円
オークランド観光開発株式会社	●佐藤さち子基金	株式会社洋伸 現金 3,412円
松永尚忠 現金 10,000円	福原 卓也 現金 3,000円	木原鱒屋分店 現金 2,847円
有限会社マイエクステリア Green	福崎 勝利 現金 22,000円	鈴木 至子 現金 10,000円
現金 30,000円	●募金箱	●つながる募金
和久津 晶 現金 75,000円	株式会社クスリのアオキ	現金 28,600円
藤波 敬子 現金 10,000円	現金 866,635円	●キモチと。
飛田 行康 現金 10,000円	株式会社北越ケース	現金 1,497円
新井 大介 現金 20,000円	現金 225,205円	●東京マラソン2021 チャリティ
塩谷 泰人 現金 1,000円	株式会社マルト商事	現金 141,000円
坂本 明子 切手 13,320円	現金 54,110円	
ミチバタ ルミコ	株式会社久美堂 現金 11,202円	
現金 10,000円	Café olu olu 現金 32,616円	

活動資金の支援をお願いします

銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655

郵便振替口座 00150-4-15754

口座名：特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会